



2021年4月22日

便利で安全なデジタル商取引へのニーズの高まりを受け、 アジア太平洋地域でデジタル・ファースト・プログラムを強化

本文書は、[4月22日に Mastercard がシンガポールで発表したプレスリリース](#)の日本語訳となります。

Mastercard は、オンラインでの買い物やネットバンキングに対する需要が高まる中、よりシームレスで安全なデジタル決済の選択肢を提供するため、最先端のパートナー企業とともにアジア太平洋地域でデジタル・ファースト・プログラムを強化します。

Mastercard によるデジタル・ファースト・プログラムでは、決済処理業者、フィンテック、決済カード発行金融機関、その他の Mastercard のパートナー企業に向けてガイドラインを提供することで、Eコマース、ネットバンキング、コンタクトレス（非接触）取引などの安全性、セキュリティ、利便性を最大限に向上させ、エンドツーエンドのデジタル決済のオプションを大規模に展開します。

即時発行を実現する Mastercard Processing プラットフォームを含む、Mastercard のグローバルネットワークのスピードとセキュリティに支えられたデジタル・ファーストは、消費者にオンラインでのお申し込みのしやすさ、ショッピングでのご利用開始までの迅速さ、柔軟で安心なお買い物体験、そして、スマートフォンやスマートウォッチなどのデジタルデバイスを使用したデジタルカードでの支払いや銀行口座からの直接支払いなどの選択肢を提供します。さらに、消費者の支払いカードに配置した QR コードを送信者がスキャンすることで、安全かつ簡単に選択した口座への資金送金を可能にする、Mastercard の「QR on Card」をはじめとする革新的な支払い方法を提供しています。

「デジタル・バイ・デフォルト（デジタルを初期設定とする）」という消費者意識は急速に定着しつつあり、[Mastercard の調査^{*1}](#)によると、オーストラリアで 30%、インドで 49%、中国で 55%、そして日本では 34% の人が今後オンラインでの購入が増えると回答しています。また、コンタクトレス（非接触）決済への移行に関しては、オーストラリアで 71%、インドで 77%、中国で 73%、そして日本では 62% と、大多数の人が今後定着していくと考えています。

^{*1} Mastercard 独自の調査として、2020年4月27日～5月17日、15カ国で合計6,750人の成人を対象にインタビューを実施。

このようなデジタル体験へのニーズの高まりを受け、Mastercard はカードの取得から運用までの様々なステップをサポートするパートナー企業と連携し、消費者がよりスピーディに導入できるように注力しています。

Mastercard アジア太平洋地域のエグゼクティブ・バイス・プレジデント、プロダクト&イノベーション担当のサンディーブ・マルフォートは次のように述べています。

「Mastercard は、24時間、世界中のどこでも指先だけで買い物や財務管理をする何十億もの人々に、スムーズで安全な決済体験を提供することで、包括的なデジタル商取引の推進を何年にも渡ってリードしてきました。

Mastercard の各パートナー企業の強みと組み合わせることで、デジタル・ファーストは、迅速で透明性の高い支払いを可能にし、電子ウォレット内のデジタルカードから、「QR on Card」や、金融サービスプロバイダーのアプリを使って銀行口座から支払いができる「Pay by Account」ソリューションまで、消費者の選択肢を最大限に広げます。加盟店にとっては、より幅広い層の消費者にアクセスでき、より迅速な資金調達が可能になるというメリットがあります。」

アジア太平洋地域の多くのマーケットでは、Mastercard のデジタル・ファースト・プロダクトがスタンダードになりつつあります。導入顧客には、[HSBC](#)、Standard Chartered 社の [Mox](#)、香港 SAR の [WeLab Bank](#)、シンガポールの [GrabPay](#)、シンガポール及びインドの [Atlantis](#)、インドの [RBL 銀行](#)、[Yes 銀行](#)、[BOB Financial Solutions](#)、日本の [三井住友カード](#)と [クレディセゾン](#)、また、オーストラリアでは [Bankwest](#)、[Bendigo and Adelaide 銀行](#)などの金融機関が名を連ねています。

本日、Mastercard と BoB Financial Solutions Limited (BFSL) は、Mastercard の「QR on Card」サービスを世界中の小規模・零細企業向けに共同で提供し、これらの企業がキャッシュレス決済を利用できるようにすることを発表しました。これはインドでは初めてのサービスで、加盟店は同じカードで収入と支出を管理することができ、配達中や店頭での接客中でもフレキシブルかつ迅速にデジタル決済を容易に行うことができます。

アジア太平洋地域における Mastercard のデジタル・ファースト・プログラムの強化は、北米における同プログラムの拡大を反映したものであり、急速に進化する今日のデジタルエコノミーにおいて、カード会員および口座保有者に対し、最高レベルの銀行取引および決済体験を他にはない価値として提供するものです。

アジア太平洋地域のデジタル・ファースト・プログラムは、独自の Mastercard Processing プラットフォームの利点を活用するとともに、[Euronet Worldwide](#)、[Tutuka](#)、[HPS](#)、[Global Processing Services \(GPS\)](#)、[Episode Six](#)などの決済処理会社やフィンテック企業、さらには [Thales](#)、[Verestro \(uPaid\)](#)、[Nuclei](#)、[Infosys](#)などのデジタルプラットフォームプロバイダーと連携しています。

このようなパートナー企業とともに、Mastercard のデジタル・ファースト・プログラムは以下に注力しています。

1. **オンライン申し込み:** 申し込みのオンライン化により、カード発行会社の承認取得後、すぐにカード情報を受け取ることができます。
2. **即時発行:** カード会員は、カード情報をすぐに入手できるため、オンライン、アプリ、もしくは店舗でのデジタルウォレットによるお買い物が可能になります。オプションでプラスチックカードの発行も可能です。
3. **詳細情報へのスピードアクセス:** デジタル環境を介して迅速かつ安全にカード情報にアクセスできるため、実際のプラスチックカードにカード番号や有効期限を表示させる必要がありません。

4. **シンプルで簡単な情報管理:**ご利用履歴や残高情報、アラート設定やカード特典へのアクセスなど、アカウント情報をデジタルで管理できます。
5. **支払い手段の選択:**銀行口座またはカードでの支払いという選択肢を提供。世界中で利用できる Mastercard の強みを活かして、いつでもどこでも支払いができます。
6. **安全性とセキュリティ:**デジタル・ファーストは、オンラインおよびオフラインのすべての取引において、消費者の安全を保証するために最高水準のセキュリティを提供しています。

###

Mastercard について (NYSE: MA) www.mastercard.co.jp

Mastercard は、決済業界のグローバルテクノロジーカンパニーです。私たちの使命は、決済を安全で、シンプル、スマートかつ、アクセス可能なものにするので、すべての人にあらゆる場所で利益をもたらす包括的なデジタルエコノミーを実現し、強化することです。安全なデータとネットワーク、パートナーシップ、情熱とともに、消費者、金融機関、政府、企業が最大限の可能性を実現するための革新とソリューションを提供します。私たちの DQ (decency quotient : 良識指数) が、社風や社内外で行うすべてのことに影響を与える大切なものと考えています。世界 210 を超える国と地域とのつながりを通じて私たちは、すべての人々にとってプライスレスな可能性を解き放つ持続可能な世界を構築していきます。